



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 森永製菓株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2201 URL <https://www.morinaga.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 栄二郎
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 岡本 奈津子 (TEL) 03-3456-0150
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	109,608	11.4	14,167	38.5	14,397	37.1	10,260	55.8
2023年3月期第2四半期	98,434	5.4	10,231	△22.4	10,498	△23.4	6,584	△31.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 13,295百万円(87.6%) 2023年3月期第2四半期 7,085百万円(△51.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 222.56	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	134.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 219,527	百万円 129,007	% 58.1
2023年3月期	205,226	125,856	60.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 127,641百万円 2023年3月期 124,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 100.00	円 銭 100.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	52.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であるため、2024年3月期の1株当たり配当予想については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。年間の配当金予想については、株式分割の実施により単純比較ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の2024年3月期(予想)の期末配当金は1株当たり105円00銭であります。

詳細については、本日(2023年11月10日)に公表いたしました「株式分割及び配当予想の修正並びに株主優待制度に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	8.0	18,700	22.7	19,100	21.2	13,600	35.2	148.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であるため、2024年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、297円23銭であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	46,959,769株	2023年3月期	48,139,769株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,050,991株	2023年3月期	1,049,444株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	46,102,982株	2023年3月期2Q	48,838,446株

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2024年3月期2Q34,181株、2023年3月期34,181株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(四半期連結損益計算書関係)	13
(セグメント情報等)	14
(収益認識関係)	15
(重要な後発事象)	15
3. 補足情報	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の我が国の経済は、不安定な国際情勢や円安等に起因した物価上昇が継続したものの、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い消費活動やインバウンド需要が持ち直したことから、経済活動や社会生活が正常化しつつあります。

一方、国内物価の上昇が消費者心理に与える影響、不安定な国際情勢の長期化や円安の進行による原材料やエネルギー価格高騰の継続、米国の金融引締め継続による景気下振れリスクなどが懸念され、事業を取り巻く環境は依然として不確実な状況が続いております。

このような中、当社グループは2030経営計画の達成に向け、2021中期経営計画の最終年度として「飛躍に向けた新たな経営基盤づくり」に取り組むとともに、様々な外部環境の変化に対応すべく事業強化を図ってまいりました。

その結果、国内では主に菓子食品事業、冷菓事業及び国内事業子会社が好調であったことに加え、米国事業が高成長を持続したことから、売上高は1,096億8百万円と前年同期実績に比べ111億7千4百万円(11.4%)の増収で、上期としては過去最高となりました。

損益については、原材料及びエネルギー価格の高騰がありましたが、増収及び価格改定効果により、営業利益は前年同期実績に比べ39億3千6百万円(38.5%)増益の141億6千7百万円と順調に回復しております。経常利益も前年同期実績に比べ38億9千9百万円(37.1%)増益の143億9千7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ36億7千6百万円(55.8%)増益の102億6千万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造>

菓子食品事業

ビスケットカテゴリーでは、「森永ビスケット」は、昨年実施した製造ラインの増強により積極的な商品展開が可能となり、「ムーンライト」をはじめとした既存品が引き続き好調に推移したほか、9月に発売した贅沢シリーズ2品も寄与し、ブランド全体で過去最高の売上高を記録しました。

キャンディカテゴリーでは、「ハイチュウ」は、引き続き食感を訴求する商品・プロモーション展開により既存品が好調に推移したほか、8月の“ハイチュウの日”に向けて発売した新商品も寄与しました。「森永ラムネ」は、新商品の発売をフックにプロモーションを強化した結果、新商品・既存品ともに好調に推移しました。両ブランドともに過去最高の売上高を記録しております。

チョコレートカテゴリーでは、「カレ・ド・ショコラ」は、秋の新商品の発売時期を第3四半期へ変更したことが影響し、前年同期実績を下回りました。「ダース」は、既存の箱形態で発売した新たなコンセプトの新商品が大きく寄与し、前年同期実績を上回りました。

「チョコボール」は、既存品は好調に推移しましたが、一部商品の終売によるアイテム数の絞り込みが影響し、前年同期実績を下回りました。

食品カテゴリーでは、「森永甘酒」「森永ココア」ともに健康ブランドとして強化するべく、価値訴求や飲用機会の提案など引き続き需要獲得に取り組みました。「森永甘酒」は期間限定品の販売好調も寄与し前年同期実績を上回りましたが、「森永ココア」は前年同期実績を下回りました。なお、原材料及びエネルギー価格高騰に対する収益改善策として、甘酒やケーキミックス等の一部商品において、9月に価格改定を実施しております。

これらの結果、菓子食品事業全体の売上高は359億1千9百万円と前年同期実績に比べ27億5百万円(8.1%)増となりました。

損益については、原材料及びエネルギー価格の高騰を増収及び価格改定効果で打ち返し、営業利益は前年同期実績に比べ15億4千8百万円増益の16億6百万円となりました。

冷菓事業

「ジャンボ」グループは、「チョコモナカジャンボ」は、今春に実施した品質リニューアルの好評と、SNSを活用した情報発信並びにPR活動の強化によるメディア露出の拡大により話題喚起に成功したことも寄与し、好調に推移しました。「バニラモナカジャンボ」は、引き続き単独TVCMを投入し品質の独自性を訴求した結果、店頭回転が好調に推移し前年同期実績を上回りました。「板チョコアイス」は、6月に発売した夏季限定品質の好評により盛夏期も好調に推移したほか、9月に発売した「白い板チョコアイス」の想定を上回る販売好調（一時休売）も寄与し、前年同期実績を大きく上回りました。通年発売2年目となる「ザ・クレープ」は、盛夏期の新商品発売によりブランド接点の拡大に取り組み、前年同期実績を上回りました。「アイスボックス」は、喫食シーン拡大に向けたプロモーション展開により引き続き購入率が拡大したほか、猛暑による需要拡大もあり、前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、冷菓事業全体の売上高は279億9千8百万円と前年同期実績に比べ30億5千6百万円（12.3%）増となりました。

損益については、原材料及びエネルギー価格の高騰を、増収及び価格改定効果で打ち返し、営業利益は前年同期実績に比べ10億4千7百万円（30.0%）増益の45億3千3百万円となりました。

i n事業

「i nゼリー」は、引き続きターゲット毎に飲用シーンの訴求に取り組み、「エネルギーブドウ糖」や「フルーツ食感」が好調に推移した一方、前年に新型コロナウイルス感染者向けとして自治体へ商品を供給した売上実績等の反動があり、前年同期実績をわずかに下回りました。「i nバー」は、プロテイン摂取手段の多様化による競争環境の激化が続く中、商品内容をより分かりやすく伝えるデザインへ全品リニューアルを行い、前年同期実績を上回りました。

これらの結果、i n事業全体の売上高は178億6千3百万円と前年同期実績に比べ7千3百万円（0.4%）増となりました。

損益については、価格改定による収益性改善に対し、原材料及びエネルギー価格の高騰の影響が大きく、営業利益は前年同期実績に比べ3億9千万円（7.7%）減益の46億5千3百万円となりました。

通販事業

「おいしいコラーゲンドリンク」は、新規顧客数が解約数を上回りましたが、定期顧客数は想定をやや下回り、売上高は前年同期実績並みとなりました。通販事業の第2の柱候補の商品である「おいしい青汁」は、着実に定期顧客数を増やし、売上高を拡大しております。

これらの結果、通販事業全体の売上高は53億1千4百万円と前年同期実績に比べ2億1千2百万円（4.2%）増となりました。

損益については、原材料価格の高騰を、増収及び価格改定効果で打ち返し、営業利益は前年同期実績に比べ9千5百万円（29.2%）増益の4億2千1百万円となりました。

事業子会社

㈱アントステラは、全国の直営店において量り売りや3ヶ月ぶりに復活した詰め放題の販売が好調に推移したほか、大手量販店の銘店コーナーへの出店の増加も寄与し、前年同期実績を上回りました。森永市場開発㈱は、テーマパークにおける販売が訪日外国人の増加や夏期休暇による来場者増加により好調に推移したほか、アンテナショップにおける販売も好調が続き、前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、事業子会社全体の売上高は46億5百万円と前年同期実績に比べ10億6千7百万円（30.2%）増となりました。

営業利益は前年同期実績に比べ2億5千2百万円（134.7%）増益の4億3千8百万円となりました。

[国内における主な商品の前年同期比（単位：%）]

菓子食品事業		冷菓事業	
森永ビスケット	121	ジャンボグループ	113
ハイチュウ	115	板チョコアイス	141
森永ラムネ	124	ザ・クレープ	102
カレ・ド・ショコラ	94	アイスボックス	123
ダース	123	i n 事業	
チョコボール	88	i nゼリー	99
森永甘酒	101	i nバー	107
森永ココア	96	通販事業	
		おいしいコラーゲンドリンク	100

※表中の数値は国内販売実績にて算出

米国事業

「HI-CHEW」は、ブランド認知及びロイヤリティ向上に向けて、メジャーリーグのパートナーシップの取組みのほか、ブランド体験を創出するプロモーションを引き続き積極的に展開しております。販売店率は順調に拡大し、売上高は前年同期実績を大きく上回り、高い事業成長を続けております。ゼリー飲料「Charge1」は、日系スーパーへの導入が進み、引き続き米系スーパー及びスポーツ系チャネルへの導入促進に取り組んでおります。また、スポーツイベントでのサンプリング活動をはじめ、広告やPR活動を強化し、ブランド認知及び商品理解の促進を積極的に進めております。

これらの結果、米国事業全体の売上高は94億4千2百万円と前年同期実績に比べ28億1千1百万円（42.4%）増となりました。

損益については、原材料価格の高騰や人件費増加の影響がありましたが、増収及び価格改定効果により収益性が向上し、営業利益は前年同期実績に比べ12億4千万円（156.3%）増益の20億3千3百万円となりました。

中国・台湾・輸出等

中国では、「HI-CHEW」の販売が引き続き好調に推移しましたが、日本製品の輸入販売は苦戦しました。台湾では、「HI-CHEW」及び「i nゼリー」が好調に推移しました。探索・研究領域である東アジア・オセアニア地区でも、「HI-CHEW」の売上高を着実に拡大しております。

これらの結果、中国・台湾・輸出等全体の売上高は40億8千1百万円と前年同期実績に比べ8億4百万円（24.5%）増となりました。

営業利益は前年同期実績に比べ1億2千3百万円（36.8%）増益の4億5千9百万円となりました。

以上の結果、＜食料品製造＞の売上高は1,052億7千9百万円と前年同期実績に比べ11.4%増となりました。セグメント利益は140億2千6百万円と前年同期実績に比べ39億6千8百万円の増益となりました。

＜食料卸売＞

売上高は、30億2千3百万円と前年同期実績に比べ13.8%増となりました。セグメント利益は1億3百万円と前年同期実績に比べ4千7百万円の増益となりました。

<不動産及びサービス>

売上高は、9億4千7百万円と前年同期実績に比べ1.0%減となりました。セグメント利益は4億9百万円と前年同期実績に比べ9百万円の減益となりました。

<その他>

売上高3億5千8百万円、セグメント利益8千万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は2,195億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ143億1百万円増加しております。主な要因は、未収還付法人税等が減少した一方で、受取手形及び売掛金や現金及び預金を合同運用指定金銭信託とした有価証券、及び有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は905億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ111億4千9百万円増加しております。主な要因は、支払手形及び買掛金や未払法人税等が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,290億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億5千1百万円増加しております。主な要因は、配当金の支払や自己株式の取得により減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金、及び為替換算調整勘定が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より2.6ポイント減少し、58.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は国内、海外ともに好調が継続し、期首予想を上回る伸長となりました。利益は、増収並びに価格改定効果が順調に実現したことに加え、エネルギー価格高騰の影響緩和や米国事業の収益貢献拡大により、各段階利益で増益となり、期首予想を上回りました。

2024年3月期通期連結業績予想数値につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績並びに、下期における中長期の成長を見据えた経営基盤・事業への投資の加速などを総合的に勘案した結果、前回公表の予想数値を上回る見通しとなりましたため、以下のとおり修正いたします。

2024年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	204,000	17,300	17,800	12,200
今回修正予想(B)	210,000	18,700	19,100	13,600
増減額(B-A)	6,000	1,400	1,300	1,400
増減率(%)	2.9	8.1	7.3	11.5
(参考)前期連結実績 (2023年3月期)	194,373	15,235	15,757	10,059

※業績予想の前提となる在外子会社換算レートにつきましては、1米ドル139.58円としております。

2024年3月期の期末配当予想につきましては、2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であるため、当該株式分割の影響を考慮し、1株当たり52円50銭としております。なお、株式分割を考慮しない場合の2024年3月期の期末配当予想は1株当たり105円00銭であり、2023年5月11日に公表いたしました1株当たりの期末配当予想に

実質的な変更はありません。

なお、当該予測数値の修正に関する事項は、本日（2023年11月10日）公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,362	34,302
受取手形及び売掛金	23,712	35,430
有価証券	-	4,000
商品及び製品	16,330	16,469
仕掛品	498	503
原材料及び貯蔵品	14,761	14,062
未収還付法人税等	3,328	-
その他	6,421	6,758
貸倒引当金	△43	△52
流動資産合計	101,371	111,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,050	29,273
機械装置及び運搬具（純額）	28,624	27,232
土地	20,734	20,762
その他（純額）	6,846	9,460
有形固定資産合計	86,256	86,729
無形固定資産		
ソフトウェア	192	237
その他	647	1,315
無形固定資産合計	839	1,553
投資その他の資産		
投資有価証券	10,167	12,714
退職給付に係る資産	4,605	4,637
繰延税金資産	1,102	1,407
その他	919	1,046
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	16,759	19,770
固定資産合計	103,855	108,052
資産合計	205,226	219,527

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,798	27,607
未払金	10,156	10,340
未払法人税等	360	4,629
返金負債	3,916	4,637
賞与引当金	2,696	2,588
株主優待引当金	-	62
その他	11,369	12,336
流動負債合計	51,297	62,202
固定負債		
社債	9,000	9,000
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	333	549
役員株式給付引当金	88	101
環境対策引当金	273	152
退職給付に係る負債	3,640	3,728
資産除去債務	66	66
受入敷金保証金	3,633	3,624
その他	1,037	1,093
固定負債合計	28,072	28,316
負債合計	79,370	90,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	83,396	84,202
自己株式	△3,713	△4,235
株主資本合計	115,482	115,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,201	6,973
繰延ヘッジ損益	3	77
為替換算調整勘定	2,263	3,314
退職給付に係る調整累計額	1,615	1,508
その他の包括利益累計額合計	9,082	11,874
非支配株主持分	1,290	1,366
純資産合計	125,856	129,007
負債純資産合計	205,226	219,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	98,434	109,608
売上原価	57,611	63,483
売上総利益	40,822	46,125
販売費及び一般管理費	30,591	31,957
営業利益	10,231	14,167
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	174	186
その他	176	177
営業外収益合計	358	373
営業外費用		
支払利息	17	52
持分法による投資損失	1	0
減価償却費	41	23
その他	31	66
営業外費用合計	91	143
経常利益	10,498	14,397
特別利益		
固定資産売却益	3	135
投資有価証券売却益	273	139
受取保険金	100	-
特別利益合計	377	275
特別損失		
固定資産除売却損	791	199
減損損失	630	-
その他	-	15
特別損失合計	1,422	215
税金等調整前四半期純利益	9,453	14,457
法人税、住民税及び事業税	2,594	4,900
法人税等調整額	182	△827
法人税等合計	2,777	4,073
四半期純利益	6,676	10,384
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	123
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,584	10,260

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	6,676	10,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,207	1,772
繰延ヘッジ損益	68	72
為替換算調整勘定	1,661	1,167
退職給付に係る調整額	△120	△105
持分法適用会社に対する持分相当額	6	4
その他の包括利益合計	409	2,911
四半期包括利益	7,085	13,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,838	13,052
非支配株主に係る四半期包括利益	246	242

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,453	14,457
減価償却費	4,920	4,652
減損損失	630	-
のれん償却額	49	-
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△7	13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	117	47
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△135	△144
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△117
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	-	62
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	6
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△0	△120
受取利息及び受取配当金	△182	△195
支払利息	17	52
持分法による投資損益 (△は益)	1	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△273	△139
固定資産売却損益 (△は益)	53	△78
固定資産除却損	734	142
受取保険金	△100	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,284	△11,404
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,697	892
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,447	4,627
その他	△405	2,011
小計	10,335	14,765
利息及び配当金の受取額	183	195
利息の支払額	△16	△51
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△9,474	2,708
保険金の受取額	100	-
補助金の受取額	-	251
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,127	17,868
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△94	-
有価証券の取得による支出	-	△2,500
有形固定資産の取得による支出	△6,641	△4,356
有形固定資産の売却による収入	165	186
無形固定資産の取得による支出	△0	△1,025
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	283	152
その他	△179	△882
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,468	△8,427

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△7,239	△5,264
配当金の支払額	△4,497	△4,712
非支配株主への配当金の支払額	△151	△166
その他	△201	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,090	△10,388
現金及び現金同等物に係る換算差額	611	372
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,819	△574
現金及び現金同等物の期首残高	60,146	36,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,327	35,503

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において、自己株式1,180,000株の取得を行い、この結果、自己株式が5,256百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、2023年6月15日付で、自己株式1,180,000株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が4,742百万円及び自己株式が4,742百万円減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金が17,186百万円、利益剰余金が84,202百万円、自己株式が4,235百万円となりました。

(四半期連結損益計算書関係)

減損損失

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

場所	用途	種類及び減損損失(百万円)				合計
		建物及び構築物	機械装置及び運搬具	土地	その他	
神奈川県横浜市	㈱森永生科学研究所(売却予定資産)	91	—	538	—	630

(資産グルーピングの方法)

当社グループは、事業用資産については、事業の種類別セグメントを基礎に独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位を識別し、資産のグルーピングを行っております。ゴルフ場、賃貸用資産、店舗、遊休資産については物件ごとに、のれんについては会社単位でグルーピングをしております。特定の事業との関連が明確でない資産については共用資産としております。

(減損損失の認識に至った経緯)

売却する方針を決定したため、回収可能価額まで帳簿価額を減額しております。

(回収可能価額の算定方法)

正味売却価額により測定しており、適切に市場価格を反映していると考えられる指標等により合理的に算定しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	94,497	2,658	956	98,112	321	98,434	—	98,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	182	0	221	464	686	△686	—
計	94,535	2,840	957	98,333	786	99,120	△686	98,434
セグメント利益	10,058	56	418	10,532	99	10,632	△400	10,231

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△400百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△409百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	105,279	3,023	947	109,250	358	109,608	—	109,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	124	0	133	403	536	△536	—
計	105,287	3,148	947	109,383	761	110,145	△536	109,608
セグメント利益	14,026	103	409	14,540	80	14,621	△453	14,167

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△453百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△491百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

(単位:百万円)

	食料品製造	食料卸売	不動産及び サービス	その他	調整額	合計
減損損失	—	—	—	630	—	630

当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、顧客との契約から生じる収益を顧客との契約に基づき、各セグメントを主要な売上管理区分に分解しております。

(単位：百万円)

報告セグメント	主な製品・地域区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
食料品製造	菓子食品事業	33,214	35,919
	冷菓事業	24,942	27,998
	i n 事業	17,790	17,863
	通販事業	5,102	5,314
	事業子会社等	3,537	4,659
	国内計	84,588	91,755
	米国事業	6,631	9,442
	中国・台湾・輸出等	3,277	4,081
	海外計	9,908	13,523
	小計	94,497	105,279
食料卸売	業務用食品の卸売	2,658	3,023
不動産及びサービス	ゴルフ場経営	372	375
その他(注)		321	358
顧客との契約から生じる収益 合計		97,849	109,037
不動産及びサービス	不動産賃貸	584	571
その他の収益 合計		584	571
外部顧客への売上高 合計		98,434	109,608

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2023年11月10日開催の取締役会において、以下のとおり、株式分割を行うことを決議いたしました。

1 株式分割の目的

株式分割を行い、当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げることにより、投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性を高めることと投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2 株式分割の概要

(1)株式分割の方法

2023年12月31日(日曜日)(当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には12月29日(金曜日))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2)分割により増加する株式数

- ①株式分割前の発行済株式総数 46,959,769株
- ②今回の分割により増加する株式数 46,959,769株

- ③株式分割後の発行済株式総数 93,919,538株
 ④株式分割後の発行可能株式総数 200,000,000株（変更なし）

(3)株式分割の日程

- ①基準日公告日 2023年12月14日（木曜日）
 ②基準日 2023年12月31日（日曜日）
 ③効力発生日 2024年1月1日（月曜日）

3 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり四半期純利益	67円41銭	111円28銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 資本金の額の変更

今回の株式分割に際しまして、資本金の額の変更はありません。

(自己株式の取得)

当社は、2023年11月10日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1 自己株式の取得を行う理由

株主還元の実現及び資本効率の向上を図ることを目的としております。

2 取得に係る事項の内容

- (1)取得対象株式の種類 当社普通株式
 (2)取得し得る株式の総数 700,000株（上限）
 （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.52%）
 (3)株式の取得価額の総額 4,550,000,000円（上限）
 (4)取得期間 2023年11月13日～2023年11月17日
 (5)取得方法 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付け
 (注) 市場動向等により、一部または全部の取得が行われない可能性もあります。

(ご参考) 2023年9月30日時点の自己株式の保有状況

- 発行済株式総数（自己株式を除く） 45,942,959株
 自己株式数（単元未満株式含む） 1,016,810株

(注) 自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式（34,181株）を含めておりません。

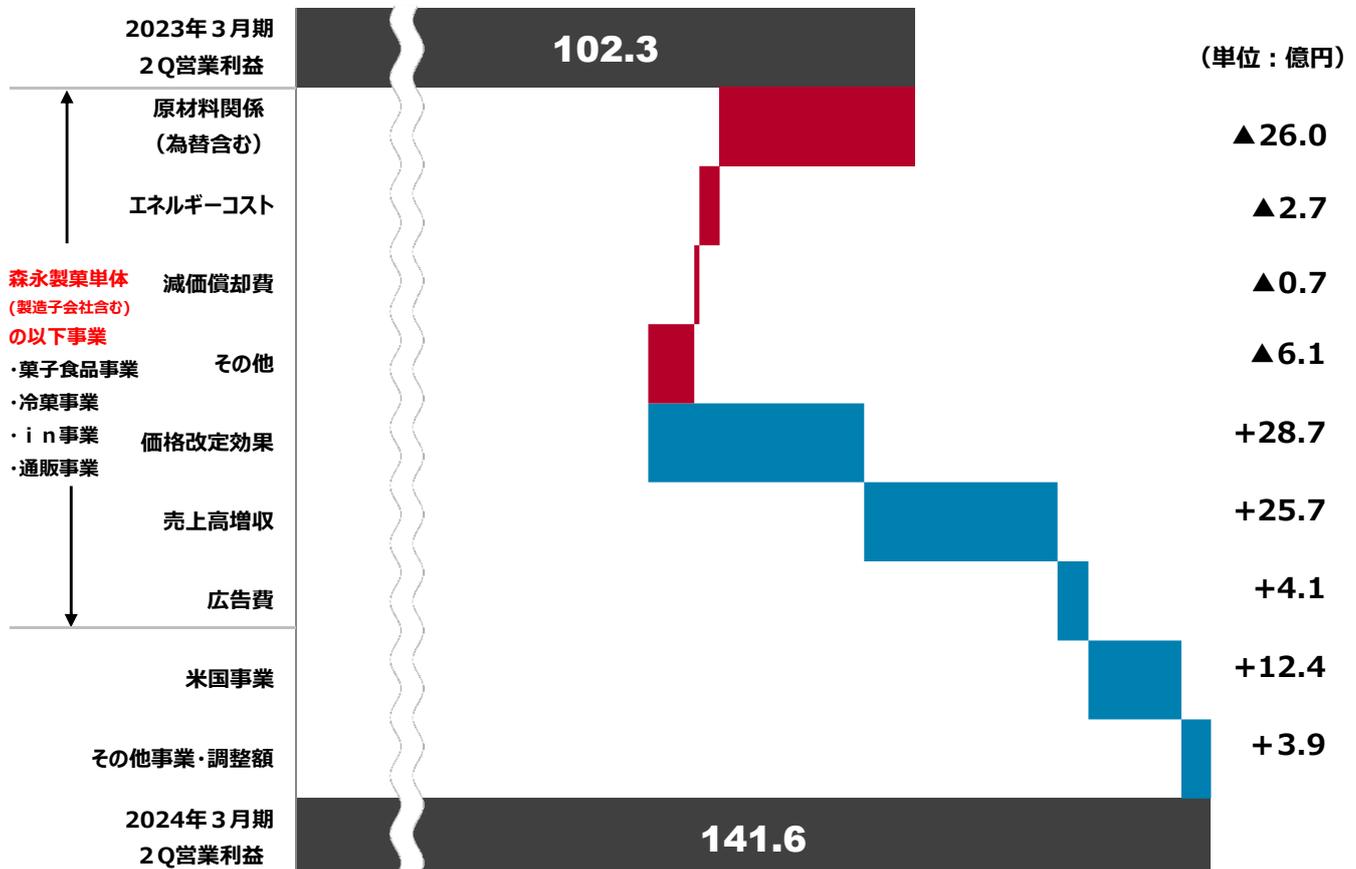
3. 補足情報

① 業績

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	98,434		109,608		11,174		11.4
売上原価	57,611	58.5	63,483	57.9	5,872	△ 0.6	10.2
売上総利益	40,822	41.5	46,125	42.1	5,303	0.6	13.0
販売費及び一般管理費	30,591	31.1	31,957	29.2	1,366	△ 1.9	4.5
販売促進費	2,715	2.8	3,029	2.8	314	0.0	11.6
広告宣伝費	5,030	5.1	4,804	4.4	▲ 226	△ 0.7	△ 4.5
運賃保管料	8,772	8.9	9,099	8.3	327	△ 0.6	3.7
給料手当	4,633	4.7	4,928	4.5	295	△ 0.2	6.4
賞与引当金繰入額	1,437	1.5	1,365	1.2	▲ 72	△ 0.3	△ 5.0
その他	8,002	8.1	8,729	8.0	727	△ 0.1	9.1
営業利益	10,231	10.4	14,167	12.9	3,936	2.5	38.5
営業外収益	358	0.4	373	0.3	15	△ 0.1	4.1
営業外費用	91	0.1	143	0.1	52	0.0	56.3
経常利益	10,498	10.7	14,397	13.1	3,899	2.4	37.1
特別利益	377	0.4	275	0.3	▲ 102	△ 0.1	△ 27.1
特別損失	1,422	1.4	215	0.2	▲ 1,207	△ 1.2	△ 84.8
税金等調整前四半期純利益	9,453	9.6	14,457	13.2	5,004	3.6	52.9
法人税等	2,777	2.8	4,073	3.7	1,296	0.9	46.7
四半期純利益	6,676	6.8	10,384	9.5	3,708	2.7	55.5
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	0.1	123	0.1	32	0.0	34.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,584	6.7	10,260	9.4	3,676	2.7	55.8

② 営業利益増減分析



③ セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高	94,497	105,279	10,782	11.4
(売上高構成比)	(96.0%)	(96.0%)		
セグメント利益	10,058	14,026	3,968	39.5
食料卸売				
売上高	2,658	3,023	365	13.8
(売上高構成比)	(2.7%)	(2.8%)		
セグメント利益	56	103	47	85.3
不動産及びサービス				
売上高	956	947	▲ 9	△ 1.0
(売上高構成比)	(1.0%)	(0.9%)		
セグメント利益	418	409	▲ 9	△ 2.0
その他				
売上高	321	358	37	11.5
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.3%)		
セグメント利益	99	80	▲ 19	△ 19.2

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

④ 国内・海外売上高

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
国内売上高	88,409	95,947	7,538	8.5
海外売上高	10,024	13,661	3,637	36.3
連結売上高	98,434	109,608	11,174	11.4

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

海外売上高比率(対連結売上高)	10.2%	12.5%
-----------------	-------	-------

⑤ 設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額
設備投資額	4,369	2,745	▲ 1,624
減価償却費	4,920	4,652	▲ 268
研究開発費	1,401	1,466	65

⑥ 2030経営計画における重点領域 売上高

(単位:億円)

重点領域	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
in事業	183	185	2	1.5
通販事業	51	53	2	4.1
米国事業	66	94	28	42.4
冷菓事業	249	279	30	12.3
合計	550	613	63	11.5
重点領域売上高比率 (対連結売上高)	55.9%	56.0%		

(注) 1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

2 in事業はinブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。

3 通販事業は海外向けの売上高が含まれております。

⑦事業別 売上高・営業利益

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
菓子食品事業	332	359	27	8.1	0	16	16	—
冷菓事業	249	279	30	12.3	34	45	11	30.0
in事業	177	178	1	0.4	50	46	▲4	△7.7
通販事業	51	53	2	4.2	3	4	1	29.2
事業子会社	67	82	15	21.4	3	5	2	98.0
その他	5	6	1	7.1	0	▲3	▲3	—
国内計	884	959	75	8.5	92	114	22	23.8
米国事業	66	94	28	42.4	7	20	13	156.3
中国・台湾・輸出等	33	42	9	24.4	3	4	1	36.8
海外計	100	136	36	36.3	11	24	13	120.7
調整額等					▲1	2	3	—
合計	984	1,096	112	11.4	102	141	39	38.5

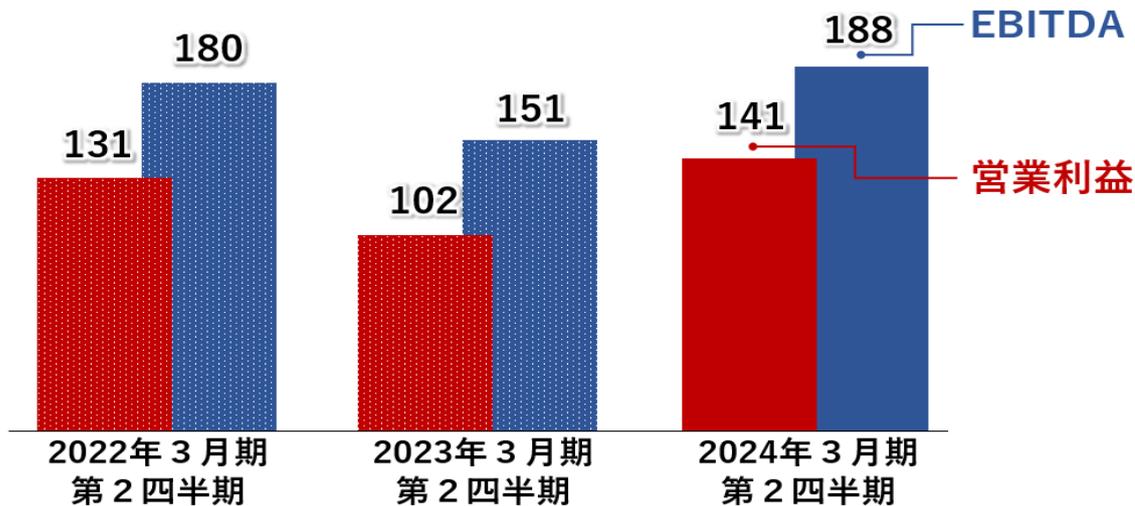
(注)1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

2 菓子食品事業はinブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。

3 米国事業は中国・台湾の米国向け輸出に係る利益が含まれております。

⑧ 営業利益及びEBITDA推移

(単位:億円)



(注) EBITDAは簡易版を使用→営業利益+減価償却費

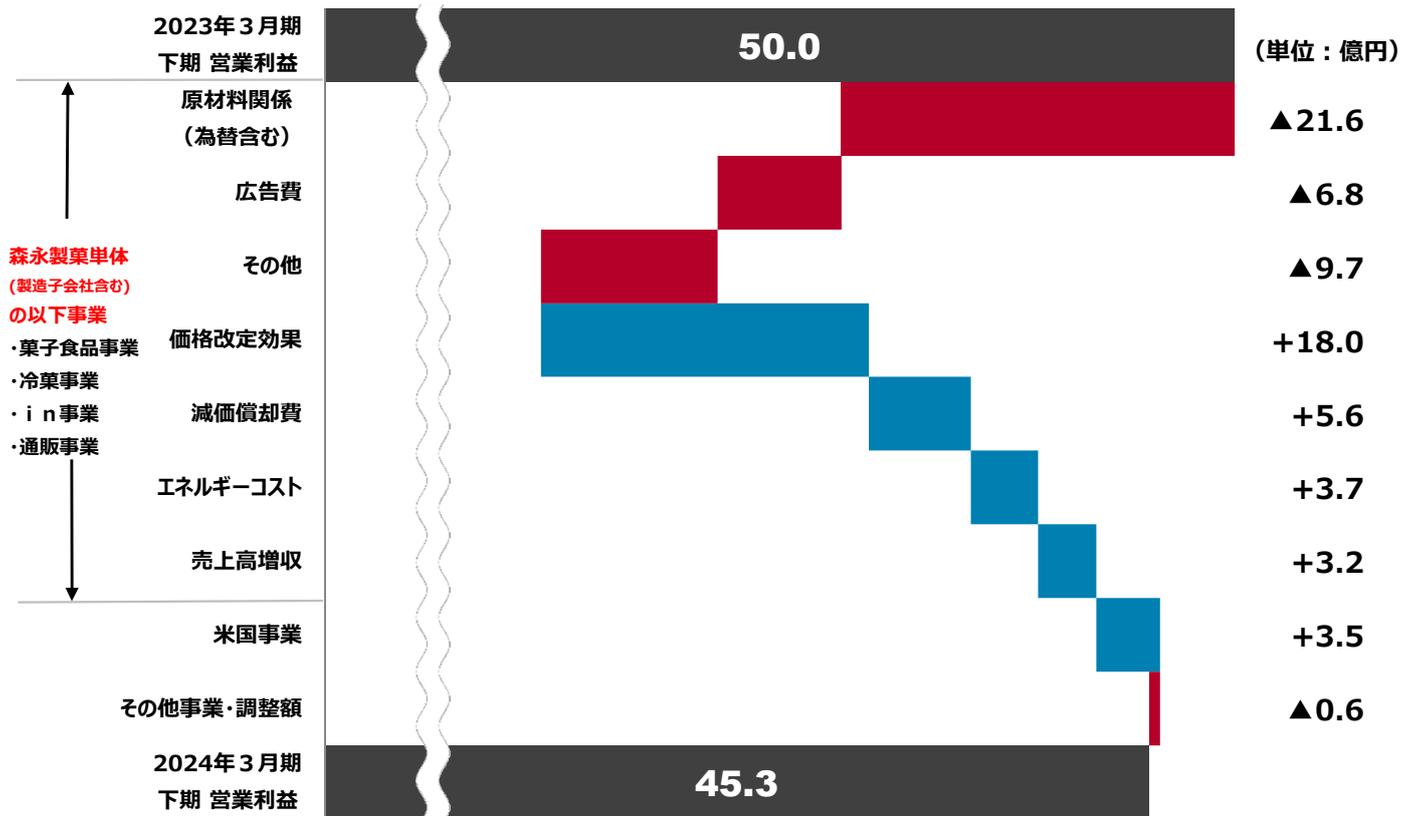
【下期予想】

① 業績

(単位:百万円)

	2023年3月期 第3・4四半期	2024年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	95,938	100,391	4,453	4.6
営業利益	5,004	4,532	▲ 472	△ 9.4
経常利益	5,259	4,702	▲ 557	△ 10.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,474	3,339	▲ 135	△ 3.9

② 営業利益増減分析



③ セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2023年3月期 第3・4四半期	2024年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高 (売上高構成比)	90,994 (94.8%)	95,520 (95.1%)	4,526	5.0
セグメント利益	4,769	4,356	▲ 413	△ 8.7
食料卸売				
売上高 (売上高構成比)	3,619 (3.8%)	3,576 (3.6%)	▲ 43	△ 1.2
セグメント利益	218	248	30	13.7
不動産及びサービス				
売上高 (売上高構成比)	967 (1.0%)	952 (0.9%)	▲ 15	△ 1.5
セグメント利益	429	456	27	6.2
その他				
売上高 (売上高構成比)	357 (0.4%)	341 (0.4%)	▲ 16	△ 4.6
セグメント利益	4	35	31	668.3

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

④ 国内・海外売上高

(単位:百万円)

	2023年3月期 第3・4四半期	2024年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
国内売上高	84,257	86,352	2,095	2.5
海外売上高	11,681	14,038	2,357	20.2
連結売上高	95,938	100,391	4,453	4.6

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

海外売上高比率(対連結売上高)	12.2%	14.0%
-----------------	-------	-------

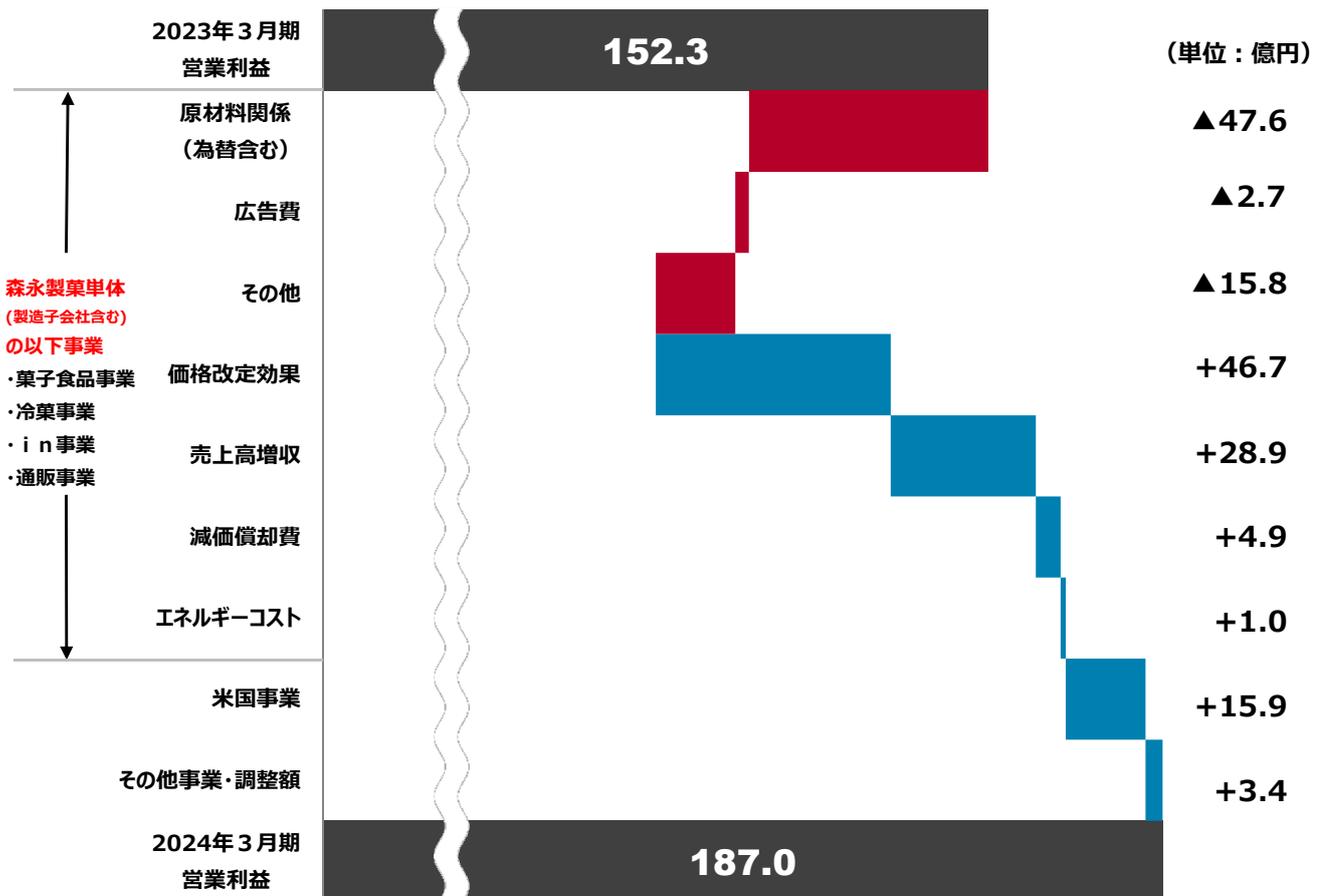
【通期予想】

① 業績

(単位:百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	194,373	210,000	15,627	8.0
営業利益	15,235	18,700	3,465	22.7
経常利益	15,757	19,100	3,343	21.2
親会社株主に帰属する当期純利益	10,059	13,600	3,541	35.2

② 営業利益増減分析



③ 事業別 売上高・営業利益

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2023年3月期	2024年3月期 予想	増減額	増減率(%)	2023年3月期	2024年3月期 予想	増減額	増減率(%)
菓子食品事業	743	770	27	3.7	15	29	14	94.1
冷菓事業	405	440	35	8.8	34	43	9	26.9
in事業	306	314	8	2.8	70	64	▲6	△8.7
通販事業	102	110	8	7.6	6	4	▲2	△34.5
事業子会社	156	173	17	11.0	9	13	4	36.7
その他	12	12	▲0	△2.0	▲2	▲6	▲4	—
国内計	1,726	1,823	97	5.6	133	149	16	11.6
米国事業	146	200	54	36.5	14	30	16	107.9
中国・台湾・輸出等	70	77	7	9.2	5	4	▲1	△24.7
海外計	217	277	60	27.6	20	34	14	71.0
調整額等					▲2	2	4	—
合計	1,943	2,100	157	8.0	152	187	35	22.7

(注)1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

2 菓子食品事業はinブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。

3 米国事業は中国・台湾の米国向け輸出に係る利益が含まれております。